

森町地域公共交通計画（案）に対する意見書【対応表】

番号	項目	意見、提案	対応状況
1	第3章 地域及び公共交通の現状と課題	令和3年度に実施したワークショップの開催状況について、掲載をした方が良いのではないかと。	ワークショップ開催により駒ヶ岳赤井川地区と本町地区から地域の課題が出されており、施策として盛り込んでいることから、計画に掲載することとします。
2	第4章 森町地域公共交通計画の基本方針	<p>町民が最も関心があり願っていることは、いつ、どのように、自分たちの足である公共交通機関が動き出してくれるかということだと思います。つまり44～48ページの施策の具体化＝実証実験も含めた具体的な計画です。できるだけ細目に、広範囲に運行できるに越したことはないと思うので、あらゆる現在の交通資源（函バス、ちゃっぷ林、グリーンピア大沼、スクールバス）の活用も含めた、新たな交通網、交通機関として構築してほしいです。</p> <p>①石倉方面…濁川路線であれば、下濁川からしか該当せず、中部、西部方面が週1回は欲しい。 ②砂原方面…東森の通行便の検討、週1回は欲しい。 ③濁川・駒ヶ岳赤井川地区フィーダーと市街地周遊セットは大賛成。砂原方面も函バス路線とは別路線で同様に検討し、市街地周遊は連日運行を可能に。 ④問題は料金。できるだけ距離加算ではなく固定額（安く）を望む。 ⑤車は高齢化が進む中、乗降がしやすいものに。</p>	<p>各施策を実施するにあたっては、地域の声を聞き、地域の資源を活用しながら実証運行も含めて実現していきたいと考えています。</p> <p>①、②…新たな公共交通の運行で回れるか、ニーズに即したバス路線の見直しが出来ないか、JRや路線バスへの接続を検討できないか、外出支援事業の拡充による検討等、今後実証運行や地域の声を反映しながら取り組んでいきます。 ③、④…市街地周遊の連日運行については、検討していきたいと考えています。函館バス路線とは別路線での運行については、地域の資源を活用していくことや交通事業者の営業部分への支障等を考慮しなければならないため、慎重に検討する必要があります。また、料金についても同様ではありますが、利用しやすい料金体系を構築したいと考えています。 ⑤…実証運行の段階では既存の車両によって運行することを想定していますが、ステップの設置や乗り降りの補助など、できる限りの支援に努めたいと考えています。</p>
3	第5章 目標に基づく施策内容の整理	<p>①コミュニティバスの運行計画をしていると聞きました。私は上台町に住んでおります。今函館バスは、渡島信金の前です。森川・姫川生活改善センター付近に停留所を作ってほしいと思います。 ②今函館バスの快速瀬棚路線があります。森停留所は森川四区にあります。これを森道の駅付近に設置できないでしょうか。この便ですと函館の病院の停留所が色々あります。</p>	<p>①市街地における停留所の設置については、P46の「施策②：本町市街地における主要施設を結ぶ交通の導入」において検討予定としています。 ②バス路線と住民ニーズのミスマッチについては、P47の「施策③：移動における町民ニーズに即した町内バス路線の見直し」において検討予定としています。 ①、②ともに利用者のご意見として頂戴いたします。</p>